





Small handwritten characters or a signature at the top right.

Main body of handwritten text in cursive script, covering most of the right page.

出父母神



Main body of handwritten text in cursive script, covering most of the left page.

而存と口一なり。其後道英と名を又向蒲也。門者新産不
形ありとよ海に舟し。まに之故阿茶之人、おとくとし
いん、引く。此何なり。進言又安、さう、おし、い、い、い、い、い、
夫、と奇と、と、い、の、り、い、く、あ、能、れ、感、と、あ、耳、し、あ、り、
を、運、き、あ、ひ、と、この、あ、は、い、い、と、と、支、祈、ま、ら、う、と、あ、ん、
し、う、ま、ま、と、耳、中、を、口、から、い、に、仰、せ、あ、ら、う、と、あ、ん、い、い、い、い、
外、を、運、張、を、あ、ら、れ、と、あ、ん、い、け、中、の、あ、ん、あ、ん、あ、ん、あ、ん、
よ、人、と、あ、い、や、ら、ん、い、ん、の、い、い、い、あ、ん、あ、ん、あ、ん、あ、ん、
さ、こ、よ、ん、あ、ん、あ、ん、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、
佛、指、の、形、と、ら、よ、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

乃英、あ、い、あ、定、い、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
你、寺、あ、
又、あ、い、
あ、
人、に、あ、
云、い、あ、
あ、

引、い、あ、
あ、
識、の、あ、

聊も我よあまのついでに...
あまのついでに...
えい乃其の時よ...
侍侍有忠に天姓の...
の奇あり...
あまのついでに...
侍侍有忠に天姓の...
の奇あり...
あまのついでに...
侍侍有忠に天姓の...
の奇あり...

ついでに...
あまのついでに...
侍侍有忠に天姓の...
の奇あり...
あまのついでに...
侍侍有忠に天姓の...
の奇あり...
あまのついでに...
侍侍有忠に天姓の...
の奇あり...

一 平家流神の事世人に知らるる事少く其の事
人の知れぬ法ともありし所も作らざる事

一 此の書中にてわたりし事多し其の事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事

一 けりし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事

一 百首乃其奇文の事人の知れぬ事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事

一 長き事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事

一 執撰者後撰氏に違ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事

一 實法乃其法の事人の知れぬ事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事

一 新古今神而の事集を以て初心乃其心多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事

一 爲友の百首文係乃其定の百首事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事

一 何れもむしれども其事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事

一 爲重印されし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事
多しと云ひし事多しと云ひし事多しと云ひし事

此の頃よりいふに伏見の御所よりしきりあふりしと云ふ

一 為すにいふにこの頃より御所の御所よりしきりあふりしと云ふ

今迄の身貞和殿初乃湯古首をみるをいふは凡そ

よき侍として度此集りぬり身貞和乃入られ侍り

ちと見ゆま侍りいふに御所よりしきりあふりしと云ふ

此の御所の御所よりしきりあふりしと云ふ

一 後光厳院乃定に乃御所よりしきりあふりしと云ふ

善達院よりしきりあふりしと云ふ

の御所御所よりしきりあふりしと云ふ

一 古相府よりしきりあふりしと云ふ

家乃嫡分御所よりしきりあふりしと云ふ

常徳院よりしきりあふりしと云ふ

此の御所よりしきりあふりしと云ふ

一 御所御所よりしきりあふりしと云ふ

人毎に御所よりしきりあふりしと云ふ

の御所御所よりしきりあふりしと云ふ

一 御所御所よりしきりあふりしと云ふ

今迄の御所よりしきりあふりしと云ふ

一 御所御所よりしきりあふりしと云ふ

今迄の御所よりしきりあふりしと云ふ

又此書は種言悉く詳述の如く人々見せしむる事あり
其の終りて身と思ふ事とあり又此書は向ふあり
其れと申書を白くしつゝ後述して下りて其れに
もてぬと家法如く人々の所乃ち其のよき事あり
しとあり又何れ其れとて言ふ事ありとのよしあり
先此書は言説處處の思はよこはる事あり作しやん
一 佛氏授意をこれとて言ふ事ありに後述して下りてこれと
他例をゆるし

一 此書は既河院の古書に作者 ^ま 既河院の古書に
奇蹟とあり一 勅撰御記十載新古今事類記
ハ多しといふ事ありとて此書古書御記の事あり

中世新古今事類記は流布の如く此書は奇蹟とあり
其れは後述して一 奇蹟とあり一 勅撰御記十載新古今事類記
人々三味とありとて言ふ事ありとて此書古書御記の事あり
人の事記ぬ事ありとて言ふ事ありとて此書古書御記の事あり
奇蹟とあり此書の事ありとて言ふ事ありとて此書古書御記の事あり
わろくすゝこの事ありとて言ふ事ありとて此書古書御記の事あり
此書御記の奇蹟とありとて言ふ事ありとて此書古書御記の事あり
ともありとて言ふ事ありとて言ふ事ありとて此書古書御記の事あり
と後述御記の事ありとて言ふ事ありとて此書古書御記の事あり
其れとて言ふ事ありとて言ふ事ありとて此書古書御記の事あり
一 此書は向ふありとて言ふ事ありとて此書古書御記の事あり

一 此書はあまの神の御事記に依りて書かれたるものなり
このしるしす

一 昔は神とてあまの御孫とて後成天皇の御事記に依りて
奇の御事とてあまの御孫とて

一 中世に文字を造りて成の御事記の中にも遠くは
の虫成也と云はれしは遠くは麻成と云ふ事
を念たり

一 此の御事記は後成天皇の御事記に依りて書かれたる
ものなり

一 此の御事記は後成天皇の御事記に依りて書かれたる
ものなり

一 題乃又宗廟の御事記に依りて書かれたるものなり
此の御事記は後成天皇の御事記に依りて書かれたる
ものなり

一 昔は後成天皇の御事記に依りて書かれたるものなり
此の御事記は後成天皇の御事記に依りて書かれたる
ものなり

一 昔は後成天皇の御事記に依りて書かれたるものなり
此の御事記は後成天皇の御事記に依りて書かれたる
ものなり

一 昔は後成天皇の御事記に依りて書かれたるものなり
此の御事記は後成天皇の御事記に依りて書かれたる
ものなり

一 昔は後成天皇の御事記に依りて書かれたるものなり
此の御事記は後成天皇の御事記に依りて書かれたる
ものなり

一 昔は後成天皇の御事記に依りて書かれたるものなり
此の御事記は後成天皇の御事記に依りて書かれたる
ものなり

早春の物之を羨み淡事跡の事かたはた別れを言
うるを言ふべし

難乃郎のくき事成りし事には由事は今の事成りし事
より一作例をとりて但しやうに作る作例の趣を
もつる事をしる事

一量物を言によはるはあはれ事なる事一月言を
りておとあはれなる事なりて是れ事なりと
言ふ事なりと

一量物を言によはるはあはれ事なる事一月言を
りておとあはれなる事なりて是れ事なりと
言ふ事なりと

一量物は月乃郎の事有る事なる事なる事なる事
一量物は月乃郎の事有る事なる事なる事なる事

春

あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事
あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事
あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事
あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事

夏

あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事
あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事
あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事
あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事

秋

あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事
あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事
あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事
あはれなる事	あはれなる事	あはれなる事

平松之志の
月如く海の
まはれぬまは

おし風なごよ
きりぬけし

霧乃れこゑの
舟代のはに

冬

まはれぬまは

あつたてぬ

あつたてぬ

あつたてぬ

言れたれ

意

まはれぬまは

あつたてぬ

あつたてぬ

あつたてぬ

あつたてぬ

あつたてぬ

あつたてぬ

あつたてぬ

あつたてぬ

あつたてぬ

雜

まはれぬまは

あつたてぬ

あつたてぬ

已上詠言此一神あり本神志世たりし人信あり
讀しうあんを藤あ讀月し

制詞事

此代村の禁制の事といふに主神を本方の或る

定家為家公の一向の由被りたる也一或いはあ

よりとてあしりされたる也一或いはあより

より詞の事といふ人といふは是れ用ひ故に後述あり

あつたてぬ今更に見るに是れ神代神代書人の

不存といふに神代書代神代書は後述あり

書は... 一紙書如也... 運を... 事... 又...
常一白

不可用詞

事... 波... 吹... 子... 油... の... 里... 宅...

文保中勢... の... 首... 区... の... 運... の... 家... の... 父... 不可...
之由... 作... と... 云

玉乃法柳

凡... 世... 川... の... 家... の... 領... 後... 成... の... 判... 之... 事... 乃... 向... 此... の... 家...
中... 之... 事... 也

美久二年八月... 定家... 判... 之... 事... 乃... 向... 此... の... 家...
是... 判... 之... 事... 乃... 向... 此... の... 家...
... 判... 之... 事... 乃... 向... 此... の... 家...
... 判... 之... 事... 乃... 向... 此... の... 家...

... 判... 之... 事... 乃... 向... 此... の... 家...
... 判... 之... 事... 乃... 向... 此... の... 家...
... 判... 之... 事... 乃... 向... 此... の... 家...
... 判... 之... 事... 乃... 向... 此... の... 家...
... 判... 之... 事... 乃... 向... 此... の... 家...

以上... 之... 由... 乃... 事... 乃... 向... 此... の... 家...

其後寺言乃の事の

御房の家合後成の判を世言乃の事の時成す
此世の人多に出の此後成の判を御房の事成す
文傳の事成の事成す御房の事成す
この事の時成す御房の事成す

其後寺言乃の事の

六言書此判を世言乃の事の時成す
正秋此判を世言乃の事の時成す
其後寺言乃の事の

于其言書此判を世言乃の事の時成す
又曰此言判を世言乃の事の時成す

建保二年八月言書此判を世言乃の事の時成す
其後寺言乃の事の時成す
其後寺言乃の事の時成す

言書此判を世言乃の事の時成す

其人

建仁三年九月水言書此判を世言乃の事の時成す
其人言書此判を世言乃の事の時成す
其人言書此判を世言乃の事の時成す

言書此判を世言乃の事の時成す

詞ありと申すはあはれなる詞也又と申すはあはれなる詞不
なる詞は福なる詞と申すはあはれなる詞也又永二氣は別他詞
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也

言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也

言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也

言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也

言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也

言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也

言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也
言ありはの詞 ありと申すはあはれなる詞也

半を以てり
新嘉坡野分合の後成の判を求むと云ふ此判願を以て成す

累代ね
おしと申すは公のわとくを此判は信じて居りし事あり

ちよ
永萬二年重家判に成分を以てしのはふはなりとてふと云ふは

えくはるいふは公の判を以てしは信じて居りし事あり

月やありぬ
定家判に成りし事あり

房の判ありぬ
定家判に成りし事あり

あやわいぬ
建保女子十月家合は定家判に成りし事あり

あやわいぬ
あやわいぬとて信じて居りし事あり

あやわいぬ
貞應元年七月雲白家合は定家判に成りし事あり

人あり

貞永元年九月九月判を以てしは信じて居りし事あり

あやわいぬ
奇合は定家判に成りし事あり

あやわいぬ
奇合は定家判に成りし事あり

あやわいぬ
定家判に成りし事あり

あやわいぬ
文永三年九月九月判を以てしは信じて居りし事あり

あやわいぬ
月とてあやわいぬとて信じて居りし事あり

あやわいぬ
奇合は定家判に成りし事あり

あやわいぬ
此一嘉慶元年十月十二日書遣候

あやわいぬ
丹別者、老老事等不可有他覚 後普光園様御殿

嘉慶二年十月十日

准三台御判



Handwritten text in a cursive script, likely a signature or name, located in the upper left quadrant of the page.

芝崎宗行

